

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

## 秋吉台 夏は暑い 冬は寒い!

暖冬とはいえ寒いことには違いありません。冬型の天気で、晴れていたかと思ったら曇ったり、時おり雨。これがそのまま冷え込めば雪になるだろうと予想していたとおり12月19日の朝、雪が積もりました。3cmから6cmほどでしょうか。秋吉台に出てみると、薄っすらと白く薄化粧。ここ数日間降ったり止んだりした雨がススキなどの枯れ草にしみ込んで、その上に雪が積もった重みのせいで、それらがペシャンと倒れてしまったからです。これくらい少ない雪で白い秋吉台が見られるのも珍しい光景です。この分だと今冬は雪の日が多くなるかもしれませんね。



## 季節の果実 花も実もある秋吉台

**トベラ** 海岸近くに自生するトベラ科の常緑低木。白い小さな花がたくさん付いて良い香りがただよいます。果実は晩秋に殻がはじけて赤い実がのぞきます。野鳥がこれを食べたタネを落としたので、秋吉台でも見かけます。

**ネズミモチ** 山林内に生えるモクセイ科の常緑小高木。枝の先に小さな花がまとまって付き、結実すると秋には暗紫色の果実が多数付きます。その果実がネズミの糞に似ていることが名前の由来です。

**ツルマサキ** 林内などに自生するニシキギ科の常緑つる性で、緑がかった小さな花をたくさん付けます。秋には結実した果実の皮が割れて中から赤い実が出て来ます。



## 「クリスマスリース作り」(12月15日)

「クリスマスリース作り」を行いました。まず長いアケビの蔓をリング状に巻いてリースの土台を作りますが、なかなか思うようにはいきません。そして出来上がったリングに、ドライフラワーやモール、サルトリイバラの赤い実などを飾り付けました。リース作りは初めてという参加者も、最初のうちは戸惑いながらも、いろいろとアイデアを凝らして雰囲気のあるきれいなクリスマスリースに仕上げました。



## 人面岩? 埋もれたモアイ像??

「人の顔がある」という知人の指さす石灰岩を見ると、確かにそのように見えます。少し上の方を向いている人の横顔に似ていますし、モアイ像のようにも見えます。数えきれないほどここを何度も通っていたのに、初めて気が付きました。秋吉台にはいろんな形をした石灰岩が見られます。このように人の顔をしたものや動物などに似たものに出会うことがあります。秋吉台の花の散策も一段落したこの時期、何か似ている面白い石灰岩を探しに出かけてはいかがでしょうか。



## アサギマダラ 幼虫の越冬

秋吉台にはないと思われていた植物のキジョランが数年前、植物愛好家によって発見されました。キジョランは「旅する蝶アサギマダラ」の幼虫の食草です。だとしたらアサギマダラが産卵に訪れるのではないかと経過を観察。ある日、丸く穴の開いた葉の裏をそっと見ると3mmほどの大きさの幼虫がいました。肉眼では見えにくいため、写真を撮って拡大すると、きれいな可愛い幼虫でした。このままここで越冬して蝶になり、また産卵にもどって来て欲しいと思います。(アサギマダラは秋吉台では確認されています。)



## 1月の行事

- 1月12日(日) 観察会「サンショウウオの観察」  
サンショウウオの産卵のようすを観察しましょう。
- 1月18日(土) 観察会「森の昆虫教室・冬(クワガタムシ)」
- 1月26日(日) 観察会「森の昆虫教室・冬(カブトムシ)」  
野外で越冬中の昆虫観察とクワガタムシ、カブトムシそれぞれの幼虫の育て方を学びましょう。